

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,632人
世帯数
3,139世帯
平成30年9月現在

楽しい思い出はできたかな!?! 手作りの五常夏祭りは大盛況

「地域の子どもたちの思い出となる夏祭りを」として始めた五常夏祭りは

今年で11回目となりました。地域の住民が協力して実施することにより、安心安全の基となる絆(きずな)づくりにもつなげようとするものです。

6月18日に震度6弱の大阪府北部地震がありました。夏休みのイベントとして、子どもたちも楽しみにしていることや、会場の五常小学校に大きな被害がなかったことから、当初の予定どおり7月21日に開催しました。

祭りの実行委員は、各自治会(理事会)からの選出、ボランティアとしての参加者、五常小学校PTAの方など、150名を超えました。

2回の実行委員会を経て、猛暑のお祭り当日は、早朝(7時30分)からの会場設営(テント設置や電気配線、調

ドラえもんダンスで盛り上がった五常っ子達



ヨーヨー いくつ釣れるかな?

理機材やプロパンガスの配置などや模擬店の食べ物のごしらえなどに大奮闘をしていただきました。アトラクションのフラダンスや「枚方めっちゃ踊り隊」のダンスには会場の浴衣姿の子どもたちの参加もあり、五常小学校児童による「ドラえもんダンス」も、夏祭りの雰囲気を一層盛り上げました。模擬店の料理や飲み物、あてものやヨーヨー釣りなどのゲームを親子で楽しんでいただきました。祭りの最後のイベント、恒例のお楽しみ抽選会では、当選者の発表にアチコチで歓声があがり、楽しい夏の夕べもあつという間に終わりました。



今年も、いっぱいの人で賑わった五常夏祭り

今年は何年以上に来場者が多く、金券や商品が売り切れるなどご迷惑をおかけしました。翌日の後片付けにも御協力をいただきました。皆様の熱い協力により、手作りの楽しい夏祭りとなりました。

子どもたちの夏の思い出作りと地域の絆づくりのため、引き続き皆様の御協力をお願いいたします。

震度6弱の地震、瞬間最大風速40メートル超の台風

ダブルパンチに見舞われた五常校区

6月18日午前7時58分に大阪府北部地震が起き、枚方市では震度6弱の大きな揺れに襲われました。震源地は高槻市西面南町付近、震源地の深さは13km、マグニチュード6.1でした。

◎その時、子ども達は

五常小学校の多くの児童は登校中でしたが、無事学校に到着し、直ちに運動場に集合して無事を確認しました。ある児童は地震発生時の様子を「話しながら歩いていたら、ゴオーと音が



大阪府北部地震の震度と震源地 (気象庁資料に加筆)

して、フラフラした。急に道が揺れた。

私が揺れているのかと思つて病院の方をみたら、建物が揺れていたので地震だとわかった。みんなビックリしたけど、『地震や』と声をあげながら学校に急いだ。」と話してくれました。

その後、余震の恐れがあることから、学校は休校となり、児童は保護者の迎えによって、帰宅しました。

◎市や学校の対応

枚方市では、高槻市のブロック塀倒壊事案をうけ、子どもの安全を確保するべく、通学路や校舎の点検のために、小中学校を3日間臨時休業としました。学校再開後も、余震等から児童を守るため、登校時の保護者による引率や、教職員による立番などが行われました。

◎被害は・・・

五常校区内でもかなりの被害がでました。マンションの高層階では大きな揺れにより、家具の転倒や食器の落下による破損など、室内の被害が相当発



末広公園は地割れにより一時立入禁止 (出所：枚方市)

生し、負傷された方もありました。

また、庭の灯籠や門柱等が倒れる被害や、壁に亀裂が入ったり、瓦が落下したり、ずれ動いた住宅も多数見受けられました。

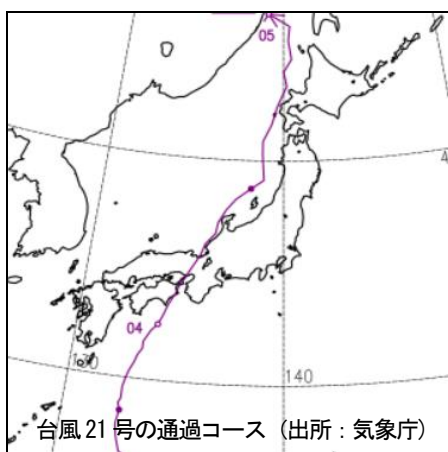
◎隣近所の助け合い

地震前日の17日に、五常校区自主防災会は防災研修会を開催しました。平成19年3月に行われた河田恵昭氏(京都大学防災研究所長(当時))の講演ビデオにより地域の力を高めることが安心安全なまちづくりにとって極めて重要だと学んだところでした。ある自治会長さんは、「出勤のため部屋を出たところだった。自治会長をしているので、

交通機関が止まったこともあり、出勤をあきらめて、管理組合の理事長とマンション被害や住民の安否を確認した。」と、おっしゃっていました。地震から3週間後の7月9日に開催した校区の自治会長専門組織責任者合同会議では、住民の安否確認や、対応行動の方法についてのマニュアルが必要ではないかなど、地震の体験を踏まえた意見が出されました。

57年振りの暴風雨

9月4日正午頃から、枚方市は暴風雨に見舞われました。台風21号が正午頃に「非常に強い」勢力を保ったまま、徳島県南部に上陸し、午後2時頃には神戸市付近に再上陸した影響で、四国



台風21号の通過コース (出所：気象庁)



吹き飛んだ屋根鋼板

や近畿を中心に記録的な暴風となりました。最大瞬間風速は関西国際空港では58.1メートルを観測し、昭和36年9月16日の第2室戸台風の時の56.7メートルを超えて、史上1位の記録を更新しました。

枚方市のアメダスでは、14時30分頃に最大瞬間風速40.2メートルを観測し、14時10分から1時間30分にわたって10分間平均風速が11〜19メートルの暴風が吹き荒れました。

◎大きな被害

大阪では、関西空港連絡橋に船舶が衝突したのをはじめ、建物の屋根が飛ばされ、トラックが横転、建設現場のクレーンが折れるなど各地に大きな被害が起きたことが報道されました。五常校区でも屋根や瓦が飛ばされ、飛来物が窓ガラスや建物の壁や車などに衝突し破損する被害が多発しました。大規模な停電も起きました。五常校区でも一部では5日の早朝まで停電するな

ど、生活に大きな影響がでました。

◎避難所開設

五常校区の第一次避難所は五常小学校です。枚方市は避難所ごとに担当の職員を決めており、その職員が開設します。開設に際し、市から各校区のコミュニティおよび自主防災会に避難所運営への協力要請があります。

6月18日の大阪北部地震の後、五常小学校に避難所が開設されました。19日以降も余震による土砂災害などの恐れがあったことから、23日の午前9時まで開設されましたが、避難者はありませんでした。台風7号関連の豪雨により7月5日〜8日、台風12号関連の豪雨により7月28日〜29日にも避難所が開設されましたが、いずれも避難者はありませんでした。

しかし、9月4日の台風21号来襲時には4日〜5日に開設され、4家族8人の避難者がありました。

災害への備え

地震や台風を防ぐことはできませんが、被害を少なくすることは可能です。

まずは、自分と家族の命を守る準備をしましょう。災害時には隣近所の助け合いが頼りになります。日頃から声をかけ合えるようになっておきましょう。

◎地震への備え

・我が家を安全な空間に

阪神・淡路大震災では、87%の人が自宅で亡くなりました。地震対策で、最優先で考えるべきことは「我が家を安全な空間」にすることです。

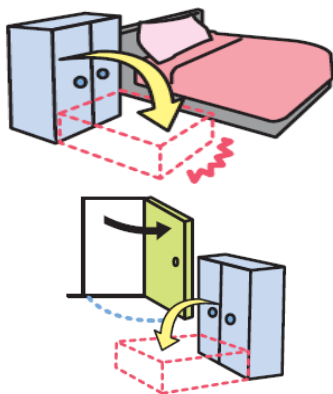
家具が倒れないように固定し、高い所から物が落ちてこないように、食器棚などの観音扉が開かないようにすることが大切です。



飛び出す食器は凶器! 観音扉にも工夫を

家具転倒防止のために、すぐに出来る事は、重いものを下に置き、新聞紙等を家具と床との間の手前の方にはさ

むことで、重心を下げることで(これだけでは不十分、固定をお忘れなく)。家具が寝ている所に倒れないように置き場所などを工夫したり、倒れたら部屋の出入口を塞ぐことになる位置にある家具は移動しておくことも必要です。



家具の配置にも注意しましょう

・家族間の連絡方法などを決める

地震はいつ起こるか分かりません。家族がバラバラの場合で被災しても「あそこに行けば必ず家族がいる、あそこに行けば必ず」という信頼感があれば、いざと言う時に迷わず行動できます。そのためにも家族の間で、万一の場合の連絡方法や避難場所等について繰り返し話し合っておくことが大切です。

◎台風時の用意と注意
家の外の備え

- ・窓や雨戸に、必要ならば外から板を打ち付けて補強。
- ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- ・風でとばされそうな物、植木鉢などは家の中に入れるなど、飛ばされないようにしておく。

家の中の備え

- ・窓や雨戸はしっかりとカギをかける
- ・割れたガラスの飛散を防ぐためにガラス窓にテープを貼ったりしておく
- ・外からの飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろす。



雨戸を閉めて、台風情報にも注意 (出所：気象庁)

・非常用品を確認し、まとめておく。

- ・停電に備えて、懐中電灯・ローソク・マッチ・携帯ラジオ・予備の乾電池を用意する。

- ・ほかに、救急薬品・衣料・貴重品・非常用食料と飲用水・携帯ポンベ式コンロなども用意。

・学校など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。

危険な場所に近づかない

- ・断水に備えて、飲料水を確保し、風呂に水をはる。
- ・雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくく、冠水した道路上では蓋が開いたマンホールも見えにくい(小



浴槽の水は生活用水に使えます (出所：気象庁)

川やマンホールに転落する事故が多い)。

・山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなるため、このような危険な場所には近づかない。

台風強い風は二段構え

- ・強い風が急に弱まっても、およそ1〜2時間後には再び吹き返し時の強風がやってくることもある。風が弱まったからといって、屋根の上にあがったり、家の周りを歩くことは危険。
- ・強風による飛来物(瓦や看板など)を頭に受けて死亡する事故もある。やむをえず戸外にでるときはヘルメットや安全帽をかぶる。

◎危険が迫ったら避難

- ・避難の勧告や指示があったら、すぐ準備し、すばやく避難する。「むだ足覚悟で早めの避難」を心掛けよう。
- ・避難の前に、必ず火の始末。
- ・避難の際、持ち物は最小限にして背中に背負う(両手は自由に使えるように)。
- ・ヘルメットや安全帽で頭を保護。
- ・素足は禁物で靴は丈夫で底の厚いものを。長靴は水が入ると歩きにくい。

もうすぐ五常文化祭

今年で10回目となる五常文化祭を次のとおり開催します。

絵画や書、手芸作品や生け花などの作品展示、喫茶コーナー(有料)のほか、昨年大好評だった吹奏楽の演奏会などもあります。

校区の皆さんの作品や演奏を楽しみ、文化の薫り高い一日をお楽しみください。

○日時 平成30年10月28日(日)

午前10時から午後4時

○場所 五常小学校体育館

編集後記

大阪府北部地震、台風21号により被災された皆様にお見舞い申し上げます。

南海トラフ巨大地震について政府の地震調査委員会(委員長・平田直東大教授)は、今後30年以内の発生確率を70〜80%と予測しています。台風も年々大型化しています。今一度、「我が家の災害対策」を確認しましょう。(KM)